

2018年6月15日  
株式会社カンター・ジャパン

～BrandZ (ブランジー) 2018 : 世界で最も価値のあるブランドランキング TOP100～

テクノロジーの勢い止まらず、ランキング史上類を見ない成長率











世界で最も価値のある日本ブランドは TOYOTA (トヨタ)

世界最大規模の広告代理店「WPP」の調査・コンサルティング業務を担うカンター・グループは、今年で13年目となる世界のブランド価値ランキング 2018 年度版 (『BrandZ™ Top 100 Most Valuable Global Brands Ranking』) を公開いたしました。

このブランド価値の算出は、カンター・ミルウォード・ブラウン社が行っており、消費者調査に基づいて測定されたブランド資産と、企業の財務実績・業績分析を組み合わせた本調査レポートは、業績と株価の向上にブランドがもたらす価値を明らかにすることで、毎年企業やブランド担当者の注目を集めています。

今年のランキングでは、テクノロジー大手の Google (グーグル)、Apple (アップル)、Amazon (アマゾン)、Facebook (フェイスブック) に加え、中国の Alibaba (アリババ) が初めてトップ10にランクインしました。また、今年はブランド全体の総資産価値が、これまでのランキングにおいて最大の成長幅を見せています。どのブランドも、ブランド構築に向けた大胆な戦略とビジネスの長期的な見通しがこれらの成長につながっています。

2018年の世界のブランド価値ランキング TOP10

2018年 ランキング	ブランド	カテゴリー	2018年 ブランド価値 (百万ドル)	ブランド価値 の増減 (前年比)	2017年 ランキング
1	 Google	テクノロジー	302,063	+23%	1
2	 Apple	テクノロジー	300,595	+28%	2
3 ↑	 Amazon	小売	207,594	+49%	4
4	 Microsoft	テクノロジー	200,987	+40%	3
5 ↑	 Tencent 腾讯	テクノロジー	178,990	+65%	8
6	 Facebook	テクノロジー	162,106	+25%	5
7	 VISA	決済	145,611	+31%	7
8 ↑	 McDonald's	ファーストフード	126,044	+29%	10
9 ↑	 Alibaba.com Global trade starts here.	小売	113,401	+92%	14
10	 AT&T	通信プロバイダー	106,698	-7%	6

矢印: (前年比Up)

## ～ 2018年トップ100ブランドの総保有価値総額は、前年比21%増～

今年のランキングでは、年間で前年比+21%もの大幅な増加が見られました。これにより、BrandZ Global トップ100ブランドの総保有価値総額は4.4兆ドルとなっています。これまでになく、すべてのカテゴリーにおいてブランド価値の成長が見られる結果となりました。

### ■テクノロジーが世界にもたらす大きな成長

上記ランキングを見ると、グローバルブランドトップ10のうち、半数はテクノロジー関連企業、またはテクノロジーをベースとしたサービスを提供しています。このカテゴリーは、引き続き1位と2位にランク付けされたGoogleとAppleが支えており、それぞれ前年比23%増の3,021億ドル、28%増の3,060億ドルの成長を続けています。

2018年のトップ100ランキング全体で見ると、さらにテクノロジーの貢献は顕著で、デジタルコンテンツ関連のサービスが大きく貢献しています。大きくランキングを上げたNetflix(61位)はセットトップボックス(STB)サービスにより、今年+73%もの成長率を見せ、その他Facebook(6位)のストーリー、Apple(2位)のiTunes、Alibaba(9位)のアリババ・ピクチャーズなどが見られます。また、従来のマーケティング手法にも、人工知能(AI)や拡張現実(AR)などにより、多くのブランドが顧客の理解を深め、パーソナライズされたコンテンツと優れたブランド体験を提供することができるようになってきました。

### ■中国ブランドの成長率は米国の2倍以上、中国の勢いがトレンドを変える

今年、米国ブランドが前年比成長率において中国ブランドに抜かれるという結果になりました。2006年の同ランキング(第一回目の調査)では、TOP100にランクインした中国ブランドはわずか1ブランドでしたが、12年後の今年のランキングには14の中国ブランドがランクインしています。

さらに、地域別上位10ブランドの価値総額ランキングを見ると、中国の成長率は前年比+47%となり、これは、米国ブランドの前年比+23%と比べると2倍以上の成長を表しています。いま、中国ブランドの価値が急激な勢いで上昇していることが顕著に表れています。(下図)

地域別上位10ブランドの価値総額 ランキング

2018年 ランキング	地域	2018年 ブランド価値 (百万ドル)	ブランド価値 の増減 (前年比)
1	米国	1,732,864	+23%
2	中国	539,310	<b>+47%</b>
3	アジア(中国を除く)	174,747	+14%

今年、最も高い成長率を誇り、急成長を遂げた中国ブランドは、チャットアプリ「WeChat」を運営し中国の EC 市場を牽引する JD.com（59 位）で、ファイナンスなどの新しいカテゴリーへの参入によってブランド価値が 94%も上昇しています。続いて、Alibaba（9 位）は、世界的なリーチの広がり、「シングルス・デー」の特売日による成功などで前年比+ 92%の成長を遂げ、初めてのトップ 10 入りとなりました。

## ■世界で最も価値のある日本ブランドは、Toyota（トヨタ）

日本のブランドでは、自動車カテゴリーの 2 ブランド（Toyota、Honda）と通信カテゴリーで 1 ブランド（NTT）がトップ 100 ランキングに入りましたが、いずれも前年から順位を落としています。

世界で最も価値のある日本ブランドは、Toyota（トヨタ）

ブランド	カテゴリー	2017年 ランキング	2018年 ランキング
Toyota	車	30	36 ↓
NTT	通信プロバイダー	50	55 ↓
Honda	車	91	97 ↓

矢印：（前年比Down）

調査が始まって以来ずっと、Toyota（トヨタ）は常に日本のトップブランドとしてランクインしています。今年の「アジアのブランドランキング上位 10 ブランド」を見ると、Toyota は 7 位となります。10 ブランドのうち 8 ブランドが中国ブランドです。

## アジアのブランドランキング TOP10

2018年 ランキング	ブランド	国	2018年 ブランド価値 (百万ドル)	ブランド価値 の増減 (前年比)	2017年 ランキング	Global Top 100 ランキング
1	Tencent	中国	178,990	+65%	1	5 ↑
2	Alibaba	中国	113,401	+92%	2	9 ↑
3	China Mobile	中国	46,349	-18%	3	21
4	ICBC	中国	45,853	+45%	4	22 ↑
5 ↑	Samsung	韓国	32,191	+34%	6	33 ↑
6 ↑	Moutai	中国	32,113	+89%	ランク外	34 ↑
7	<b>Toyota</b>	日本	29,987	+5%	5	36
8	Baidu	中国	26,861	+14%	7	41
9 ↑	Ping An	中国	26,141	+51%	ランク外	43 ↑
10	Huawei	中国	24,922	+22%	8	48 ↑

矢印：（前年比Up）

## ■『BrandZ™ Top100 Ranking (ブランジー・トップ100ランキング)』について

BrandZ (ブランジー) は世界最大のブランド資産データベースです。毎年300万人以上の世界中の消費者アンケートの結果から集められるブランドデータと、各企業の財務実績や業績の分析を組み合わせた唯一のブランド評価調査で、毎年更新されています。

直接消費者に対して行うアンケートでは、彼らが実際に買い物をしているカテゴリについて評価をしてもらうことで、ユーザーの実体験に則した評価がデータに反映されています。データベースには、消費財 (FMCG)、耐久消費財、サービス、店舗、企業ブランドなど、400以上の多岐にわたるカテゴリにおいて、12万個以上のブランドの結果が含まれています。

### BrandZ™ ブランド価値の算出プロセス



※BrandZは、カンター・ミルウォード・ブラウンのブランドエクイティ評価モデルであるBrandDynamicsアプローチに基づいており、セールスとの実証実験を繰り返すことで定期的に開発・改善が行われています。

#### 【参照】

BrandZ Top 100 Most Valuable Global Brands レポートダウンロード

→ [http://brandz.com/admin/uploads/files/BZ\\_Global\\_2018\\_DL.pdf](http://brandz.com/admin/uploads/files/BZ_Global_2018_DL.pdf)

BrandZ Top 100 Most Valuable Global Brands インフォグラフィック ダウンロード

→ [http://brandz.com/admin/uploads/files/Global\\_2018\\_Infographic\\_Download.pdf](http://brandz.com/admin/uploads/files/Global_2018_Infographic_Download.pdf)

※グローバルレポートおよびランキング、図表、解説その他は BrandZ アプリからもご入手いただけます。BrandZ アプリは [www.brandz.com/mobile](http://www.brandz.com/mobile) から Apple IOS または Android 機種用に無料でダウンロードしていただけるほか、iTunes または Google Play アプリストアで BrandZ を検索していただくと利用が可能です。

※本文を引用される場合は、出典が「カンター・ジャパン」であることを明記してください。

## ■ カンター・ジャパン 会社概要

カンター・ジャパンは、世界最大規模の広告代理店「WPP」の調査・コンサルティング業務を担う「カンター・グループ」に属し、日本では 50 年以上の歴史があるマーケティング・エージェンシーです。

私たちは、有用なインサイトを調査データから導きだし、社内外に存在する様々なデータと組み合わせることで、適時適切な「経営/マーケティング判断」を行うための「ソリューション」と「専門的なアドバイス」を提供いたします。さらに、約 100 か国で展開する「カンター・グループ」の日本市場における代表として、グローバルの新しい知見や効果的な手法の国内導入を積極的に行い、「ビジネス機会の評価」から「製品・ブランド戦略の立案」、「マーケティング施策実行・支援」まで、海外調査も含めた「ワンストップサービス」を強みとしています。

- 社名：株式会社カンター・ジャパン
- 所在地：東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー6F
- 代表者：代表取締役社長 大竹 秀彦
- 事業内容：市場調査、コンサルティング業務
- ウェブサイト：<http://www.kantar.jp>  
Facebook：<https://www.facebook.com/KantarJapan/>

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社カンター・ジャパン

広報 E-mail：[Marketing@kantar.co.jp](mailto:Marketing@kantar.co.jp)